

調査地点別・調査項目および調査実施年度(植生モニタリング調査)

調査地点および調査項目	調査地点数		1期計画					2期計画					調査範囲	調査内容	調査時期	調査頻度等備考	
	柵内	柵外	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25					
5. ニホンジカ保護管理計画に基づく調査地点																	
①緊急対策地区		7															地点、手法について再検討
上層植生調査			○					○									1回/5年
下層植生調査			○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●				毎年
②重点監視地区		4															地点、手法について再検討
毎木調査				○				○									1回/5年
植生調査				○				○	●	●	●	●	●				毎年
下層植生調査								○	○	○	○	○	○				毎年
③周辺地区		5															地点、手法について再検討
毎木調査				○				○									1回/5年
植生調査				○				○	●	●	●	●	●				1回/5年
下層植生調査																	1回/5年
6. 植生保全対策実施地点																	
植生保全対策実施場所の検討								○	○	○	○	○	○	○	○	○	毎年 翌年度以降の実施場所、手法を検討
防鹿柵設置地点																	
植物相調査				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	毎年
植生変化モニタリング																	毎年
小規模防鹿柵																	
稚樹生育状況調査		7						○	○	○	○	○	○	○	○	○	隔年
パッチデバイス																	
実生調査		12	12					○	○	○	○	○	○	○	○	○	H21で終了
稚樹生育状況調査		12	12														H22から実施。1回/2年
植生調査		12						○	○	○	○	○	○	○	○	○	1回/2年

○:調査済 ●:調査予定 ■:詳細調査 一:今回計画を変更し終了又は縮小した調査

調査地点別・調査項目および調査実施年度(植生モニタリング調査)

調査地点および調査項目	調査地点数		1期計画						2期計画						調査範囲	調査内容	調査時期	調査頻度等備考	
	棚内	棚外	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25							
7. 西大台利用調整地区植生モニタリング調査																			
植生調査		4				○	○	○	○	●	●	●	●	●	■	2m×2m×3 ×3ヶ所	種別被度(%),土壌硬度(詳細調査時),定点写真(毎年)	7~8月	詳細調査:1回/5年 定点写真:毎年
植生回復調査		6				○	○	○	○	■	●	●	●	●	●	10m×10m	詳細調査(種別被度・群度), 定点写真	7~8月	詳細調査:1回/5年(初期値は2年実施) (簡易柵を設置し、シカの影響を排除した変化を把握) 定点写真:毎年
希少植物調査						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	歩道沿い	希少種の位置、個体数	6月	選定した指標種を対象に毎年
種子持ち込み調査					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		ピジターセンター等で回収する利用者の靴底泥のまきだし	泥の回収は5~11月 まきだしは適宜実施		調査は適宜
蘚苔類被度調査		12				○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		蘚苔類の被度	秋季	1回/2年
8. 緊急対策地区メッシュ調査																			
ササ類被度調査									○							1メッシュ 100m×100m	被度・高さ・病気の有無	6~8月	1回/5年
コケ類被度調査									○								被度	6~8月	1回/5年
9. 定点写真撮影調査地点																			
定点写真撮影				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		景観変化調査:16地点 植生回復モニター調査:3地点	10月	毎年
10. 菌害による実生定着阻害に関する調査																			
トウヒ種子の菌類への感染調査									○	○						実証実験区 等	林床条件の違いによるトウヒ種子 の菌類への感染調査		H21で終了
11. 外来種に関する調査																			
外来種に関する調査																	ドライブウェイ等の法面や駐車場 に生育する外来種の把握調査	7~8月	調査は適宜
12. 水文に関する調査																			
森林内小渓流量調査																実験区等	調査する小流域を設定し、渓流流量 調査する(1箇所)		毎年

○:調査済 ●:調査予定 ■:詳細調査 -:今回計画を変更し終了又は縮小した調査